

《企画展》百瀬文「口を寄せる」

アーティスト百瀬文の個展、「口を寄せる」を開催します。

百瀬は、主に映像作品で、他者とのコミュニケーションの中で生じる不均衡をテーマとし、身体・セクシュアリティ・ジェンダーを巡る問題を追究しています。本展では、女性声優をテーマにした新作のサウンド・インスタレーション《声優のためのエチュード》を発表します。

展覧会タイトルの「口を寄せる」は、他者に寄り添う動作を連想させますが、「声」がさまざまな身体を行き来していく様子にもつながります。存在しているのに、抑えつけられ、ないものとされていたさまざまな「声」に、耳を傾けてみてください。



《Interpreter》2022年
紙にインクジェットプリント、
サイズ可変

開催期間 12月10日(土)～令和5年6月4日(日)
開館時間 午前9時～午後5時 ※入場は午後4時30分まで
休館日 月曜日 ※月曜日が休日の場合はその翌日。ただし、
12月26日(月)～令和5年1月1日(日)は休館。
企画展観覧料 一般800円 ※高校生以下無料

12月10日(土)は現代美術館常設展示市民無料デー

マイナンバーカード、免許証など住所が確認できるものを受付に提示してください。

～市民無料デーに合わせて開催～

対話型鑑賞プログラム《げんびさんぽ》

げんびサポーターと一緒に常設展示作品を鑑賞します。

とき 午前11時～正午 定員 10人 ※事前予約制・先着順

アーティストトーク

とき 12月10日(土) 午後2時～3時

ところ 市民図書館 多目的研修室

定員 40人

※事前予約制・先着順

※要企画展チケット

ももせ あや
百瀬文

アーティスト。

1988年生まれ。東京を拠点に活動。

2013年、武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了。映像によって映像の構造を再考させる自己言及的な方法論を用いながら、他者とのコミュニケーションの複層性を扱う。

近年は映像に映る身体の問題を扱いながら、セクシュアリティやジェンダーへの問いを深めている。



撮影：金川晋吾

学芸員による

企画展ギャラリートーク

とき 12月17日(土) 午後2時～3時

定員 10人 ※事前予約制・先着順

※要企画展チケット

アーツ・トワダ ウィンターイルミネーション

商工観光課 ☎51-6773

約30万球の青色LEDの光がアート広場全体を幻想的に演出します。

とき 12月16日(金)～令和5年2月14日(火)
午後4時30分～9時

※初日の12月16日(金)は、午後5時50分から点灯式を開催します。

ところ 現代美術館アート広場